

設定—物件設定—設定—実行モード—計算・出力

◆ 計算・出力

実行モード設定

計算書指定 計算・出力 たわみ設定 パラメータ 断面欠損 その他 4分割 連動設定 単位

計算ルート	ルート1
梁・母屋梁の断面自動算定	行わない
柱頭・柱脚接合部の引張耐力の検定方法	標準計算法
水平構面構架材端部の必要引張耐力の算定方法	標準計算法
めり込みの検討	長期・短期を行う
基礎の検討	行う(基礎梁:短期加力4方向)
転倒の検討	行う
仕口検討時の梁成整合	行う
床タイプ	根太あり
性能評価等級	出力する
部屋高さ仕様	出力する
設計方針	出力する
荷重伝達図の作成	しない
荷重図の作成	しない
横架材接合部の有効断面積	$A_e = A_o \cdot 2 / bd$
柱頭柱脚金物配置図の金物工法表示位置	枠内
基礎の検討方法(梁断面)	許容応力度計算(変位法)
許容応力度(変位法)基礎梁検討時の基礎の自重	考慮する
屋根領域分割方法	亀甲分割
集成材の厚さ方向の辺長に対する係数の考慮	
【梁】	考慮する
【土台】	考慮する
【柱】	考慮する
集成材の厚さ方向の辺長に対する係数の安全側考慮	考慮する

了解 キャンセル

< 梁・母屋梁の断面自動算定 >

「行う」の場合、構造計算時に発生した応力に対して、梁断面を現在入力している梁成を考慮せず設定している材の強度で最低限必要な梁成を自動算定します。母屋の場合、使用木材で指定された梁成でNGとなった場合に母屋梁として同様に自動算定されます。

「行わない」の場合は個々の梁で入力されている断面寸法で検討されます。



この設定が「行う」の場合、計算の際に自動的に「最低必要材寸」に梁成を上げますのでエラーが表示されません。

最初から「行う」にして計算しますと、エラーに気づかず終了させてしまいますのでお気をつけください。

最初は「行わない」にしてエラーを確認し、その後「最低必要材寸」を計算したい場合に「行う」にします。最後は再度「行わない」にして最終的にエラーを確認するようにしてください。